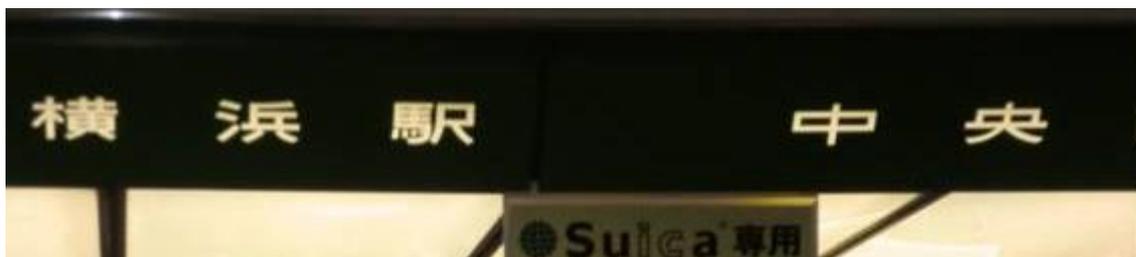


第4節 横浜～川崎（第41回わいわい会に対応）

横浜(10:40)～東神奈川(11:22)～新子安(12:01)～鶴見(13:35)～川崎(15:06)

第41回目のわいわい会は、平成23年3月12日（土）実施。昨日は東日本に想像を絶する巨大地震で自宅には6時半頃帰宅。睡眠も地下鉄千代田線の中で30分程度仮眠したのみ。朝風呂に入り、30分程度仮眠する。



7時37分、藤本さんから、「今香川。新幹線の影響で欠席します。」の連絡あり。7時43分、谷本さんから本日わいわい会があるか否かを問い合わせがある。「当然あります」と応える。西田さんから8時50分欠席の連絡あり。8時55分頃、家内にさがみ野まで送ってもらう。植村さんから横浜駅に到着した時（9時48分）、欠席の連絡あり。JR横浜駅中央南口改札口には9時55分頃到着。暫くして谷本さんが来られる。宇賀神さんが10時30分頃到着。10時37分、中島さんと連絡が取れる。次の神奈川駅で待っているとのことであった。昨日の地震の影響にもかかわらず、本日は4名ものメンバーがそろろう。非常に有難い思いで一杯となる。とりあえず、3名で横浜駅を10時40分スタートする。



昨日は東日本に想像を絶する巨大地震（M9.0）が14時46分頃起きた。丁度日本保険・年金リスク学会（JARIP）主催のフォーラム（日本工業倶楽部3階大ホール：東京新丸ビル隣）で、東京海上ホールディングス（株）の玉村 勝彦氏の講演中（損害保険関連リスク）であった。天井にあるシャンデリアがブランコをしているかのように大きく揺れてきた。そのうちに中央にあるシャンデリアの下部部分が欠落してきた。運良く、司会の栗山氏の好誘導で怪我人は出なかった。また、JARIPの緊急会議にて2コマ半で以降のフォーラムは中止とした。今から考えるといい英断を下したと思える。というのは、余震が何回も続いた。そして、首都圏の鉄道網は12時間以上もストップしたからである。JARIP中止後、本日中止したフォーラム今後の対策を役員関連で打ち合わせがあったため、私も監事のため引き止められた。その関係で19時頃まで日本工業倶楽部の2階でお世話になった。この間を利用して家族と連絡を取ろうとするが、一向に家電、携帯も繋がらず。実は19時に家内と八幡山駅前で合流して近郊にいる孫を迎えに行く用事があったためである。18時以降はJARIPの役員は流れ解散となる。17時19分、会社から安否の確認の電話がある。栗山さん、菅野さん、酒井さん、田中さん、山本さん達が、自宅やホテル、そして会社等へ順次立ち去る。段々不安が増してくる。この場所で酒井さんの方から最大21時半までは在室できるとのお話がある。山内さん、金村さん、森本さん等の19時過ぎまで鉄道ダイヤ回復を希望してご一緒させて頂く。この待機時間に、金村さんから1ヶ月前の自宅の全焼事件話がある。「子供が宿題で5時起床したおかげで、火災が小さい内に気づいた。着の身着のままであったが、家族全員が無事脱出できてよかった。ホットカーペットが火元の原因であった。会社の温かい援助で急場がしのげた。災難はJARIPのテーマのようにいつ起こるかわからない。いい人生勉強を体験しました。保険の有り難味を改めて痛感しました。」と。しかし、再起が不可能と考え、この最後のメンバーもこの場所を立ち去るとのことであった。それで止むを得ず、私は内幸町にあるフコク生命本社に帰る。フコク生命には20時前に到着。通常のエレベーターは閉鎖されていた。それで荷物エレベーターを活用して、27階にある事務所まで上がることにする。荷物エレベーター前でコロンビア出身のヘルメット姿の45歳位のサラリーマン（広尾近郊に在住）と対面する。手には本日長丁場を予想し食料を買い込んでいた。10分位の待機時間を利用して色々世間話（日本語）をする。荷物エレベーターにはフコク生命のメンバーが沢山乗っていた。20時過ぎ

27階の主計部に帰社。メンバーから「無事でしたか」と声をかけてもらう。会社の電話を利用して、家内・長男に電話する。やっと1時間位悪戦苦闘し通じる。21時から翌3時半まで、各階を部署に立ち寄り待機時間を有効に過ごす。38年間のサラリーマン人生で初めての貴重でかつ苦い経験であった。



本日は昨日の悲しい大地震がなければ、最高のウォーキング日和になりそうであった。10時55分、金港町通過。11時8分、滝の川を通過。梅が満開を迎えていた。11時11分、神奈川警察署を通過。11時22分、東神奈川駅に到着。中島さんと合流。11時35分、出田町入口に通過。近くに吉野家があった。11時50分、入江橋交差点を通過。その先に「川崎7km、鶴見4km」の道路標識があった。入江橋バス停前から前方に煙が見える。11時56分、東横イン駅前159前を通過。12時1分、新子安駅に到着。駅前のきそばに入る。ここで、30分程度休息する。もりそばをつまみにビールを飲み寛ぐ。



東神奈川駅



昼食会



12時45分、麒麟ビール横浜工場前を通過。谷本博士のご推奨で麒麟ビール立ち寄りを期待したが、生憎本日は休館日という立看があった。ここから東海道の

旧街道を歩く。12時46分、生麦事件130年追悼記念碑（平成4年8月21日）前を通過。13時10分、道念稲荷前を通過。13時17分、鶴見線下を通過。この近郊で谷本さんと中島さんを見失う。13時21分、下野谷町入口交差点到達。「先に鶴見駅まで行っているだろう」と考え、このまま鶴見駅まで進む。13時35分、JR鶴見駅に到着。しかし、谷本さんと中島さんには会えず。ここで携帯電話にて確認する。15分位待つ。携帯電話の結果、中島さん達も国道で私達を待っていてくれたとのことであった。



生麦事件記念碑前

14時、横浜市鶴見図書館前を通過。14時5分、旧東海道鶴見橋の記念碑前通過。まもなく、万歩計で209歩ある白い釣り橋型の鶴見川橋を渡る。この橋を渡ると横浜市から川崎市となる。橋を渡った先で菜の花が満開を迎えていた。14時16分東海道五十三次の絵がある市場一里塚前を通過。



鶴見駅近郊



鶴見橋

和歌山県に縁のある熊野神社（14時21分）があった。京急の八丁畷（なわて）駅前を14時27分通過。この駅は京急線や鶴見線踏破の時クリアした駅である。難しい漢字なので印象に強く残っていた。本日終着駅の川崎駅には15時6分到着。駅の看板を探すのに15分程度要する。駅舎前が工事のため、写真に収めようとする川崎駅の看板が見つからず。駅舎撮影後、地下の商店街に入る。八角で18時少し前まで反省会をする。お好み焼きが美味しい店であった。本日は、昨日の東北大震災にも関わらず、万障繰り合わせの上出席頂いた、谷本氏、中島氏、宇賀神氏に感謝したい。そして、非災地の方に心からお悔やみを申し上げたい。充実した一日である半面、非常に後ろ髪をひかれる一日でもあった。雨にも風にも負けない「わいわい会の連続記録」は40回で途切れず、41回とお蔭様で更新できた。本日万難を配してご参加頂いた3名の方に深く感謝を述べたい。



川崎駅

第5節 川崎～品川（第42回わいわい会に対応）

川崎(10:30)～蒲田(12:15)～大森(14:58)～大井町(15:40)～品川(16:55)

第42回目のわいわい会は、平成23年6月4日（土）実施。本日は終日初夏の陽気に包まれる。昨日はアクチュアリー仲間の今治氏と東京ドームで巨人＝楽天戦を観戦（4対2巨人勝利）。ラミレスのホームランで東野が開幕戦以来久しぶり2勝目をあげる。

それ故、美味しいビールとなった。また、熟睡もできた。6時前に起床し、愛犬セブンを散歩させる。散歩中に福西さんからの昨日夕方入っていた留守電（本日の集合時間の件）への対応をする。セブンの散歩を済ませて自宅に帰るや否や、高田さんから本日欠席との連絡を頂く。8時10分自宅を出、中央林間駅に向う。運良く、8時42分の押上り急行電車の間に合う。溝の口まで行き、南武線で川崎まで向う。川崎駅には9時34分到着。JR川崎駅改札口前には、わいわい会以外のウォーキング会のメンバーも待ち合わせていた。昨年の12月の駒込以来である。少し早いためか、わいわい会メンバーは誰もいなかった。それから暫くして、宇賀神さん、福西さん、谷本さん、門口さん、末沢さん、坂本さん、久米さん、植村さん、大崎さんと順次お見えになる。本日は男性5名、女性5名の総勢10名である。初参加は、末沢さんと福西さんの2名である。末沢さんは数日前宇賀神さんからメールで出席の連絡を頂く。川崎駅で待ち合わせ中、谷本さんから5月連休後半、肺炎を拗らして大変な思いをしたとのお話があり、大変びっくりする。待ち時間を利用して、「わいわい会賛歌（案）」をお見せし、感想をお伺いする。少し長いですが、内容的にはOKではないかのコメントを数人から頂く。待ち合わせ中の話題の中心は、先日の地震関連であった。西田さんは孫の幼稚園の運動会で本日は欠席との連絡を久米さんから頂く。





10時半に簡単な挨拶をして、10名で品川に向かって進む。川崎での集合写真は割愛する。本日の先頭グループは概ね門口さんと谷本さんに担当頂く。蒲田駅まではJR線ではなく、京急線に沿って歩く。昨年品川から横浜に向けて、京急線を歩いたので、京急線の風景は残像に多々残っていた。それ故、川崎から京急まで歩く方向は逆であったが、懐かしさが込み上げてきた。10時35分、旧東海道前を通過。植村さんと宇賀神さんを背景にデジカメに収める。10時48分、稲毛通りを通り、競馬前通り交差点で左折する。その先に箱根駅伝でよく耳にする六郷橋（10時55分）があった。途中、神奈川県川崎市から東京都大田区となる。六郷橋を過ぎると、京急の六郷土手駅や雑色駅があった。11時11分、品川10kmの道路標識前を通過。ドイツワインの店があり。その先の仲六郷三丁目辺り（11時15分）で、本日初参加の末沢さんからチーズの差し入れがあり。本日は初夏の陽気で疲れかけた心身にエネルギーを頂く。いつも女性の方の気配りは本当に頭が下がる思いである。近くにホンダ蒲田店があった。



京急蒲田踏切前





京浜蒲田公園

11時45分、ここでも箱根駅伝で御馴染みの京急蒲田踏切前に来る。一旦踏み切りを渡り、京急蒲田駅前に来る。しかし、本日のテーマの JR 蒲田駅ではないので、私の一存で少し引き返し、JR 蒲田駅を目指してもらうことにする。地下道を通り、京急線を横切る。途中、京浜蒲田公園前（12時）で記念写真を撮る。この公園を過ぎるとアーケードのある商店街が続いていた。歩道には JR 蒲田駅と京急蒲田駅の案内があった。12時15分、本日最初の目標駅である JR 蒲田駅に到着。駅前で記念写真を撮ってもらう。矢張り幹線道路に比べて、鉄道に沿った歩きは情緒が一味違う。恐らくメンバーの誰もが感じたのではないだろうか。12時21分、万歩計で40歩ある呑川を渡る。川には鯉が泳いでいた。12時25分、洒落た銭湯である「ゆーシティー蒲田」前を通過。都心の情緒を充分楽しませて頂く。



JR 蒲田駅

13時15分、大森駅手前の「びっくり寿司」で遅い昼食を摂る。火照った体を生ビールが冷してくれた。全員三色丼を注文する。ビールのつまみには最高であった。ビールのあと、720mlの一刻者を注文する。つい話が弾んで二本目を注文することになる。話題の中心は、次回彦根で開催する43回目のわいわい会が中心となる。私の青春18きっぷのPRで、植村さんと門口さんが新幹線組から青春18きっぷ組に変更モードとなる。福西さんも日帰りに傾きかける。各駅停車の魅力強く訴えたからであろう。昼食会の途中、久米さんと末沢さんは切り上げて帰る。話は盛り上がったが、14時40分、びっくり寿司を出る。



びっくり寿司

14時58分、大森駅に到着。遊歩道を歩く。15時20分、関ヶ原公園を通過。東大井6丁目で旧薩摩鹿児島藩島津家抱屋敷跡という看板を見つける。15時32分、近くに来たので、伴さんに電話を入れる。しかし、所要があって会えず。15時40分、大井町駅に到着。



16時、東小路飲食店街前を通過。そこから、絵がある遊歩道を歩く。16時18分、目黒川を渡る。16時20分、北品川三丁目を通過。16時25分、お祭りがあった品川神社前を通過。道路の向こう側には吹上湯があった。与謝野晶子が作詞した校歌を掲示した品川女子学校があった。近くに東海七福神があった。16時40分、京急北品川駅を通過。



16時43分、新八ツ山橋東詰めがあった。JR線を横切る。品川駅には16時55分到着。ここで解散する。谷本さん、植村さん、宇賀神さん、檜原の4名で品川の駅近郊のB1の九州酒場で反省会をする。17時53分、関西桜紫会会長の犬塚氏に電話を入れる。関西での次回の概ねの参加人数をお伺いする。約15名とのことであった。正式には6月24日(金)の幹事会で決まるとのことであった。20時、この店を出る。大井町線で自宅へ。誤って、大岡山で下車する。谷本さんから20時52分、安否の電話ある。自宅には

22時13分到着。本日の万歩計は39,799歩だった。本日も天気に恵まれ、新規参加者2名を迎えての歩きで、充実した一日であった。

